

「小規模総合学科校等による地域と連携・協働した高校魅力化」実績報告書

実践テーマ	地域創生や持続可能な社会づくりの観点からの探究活動等の充実に向けた取組
教科科目 及び概要、 担当者名	<p>学校設定科目 総合選択科目 3年次 理科 「自然環境研究」(4単位)での「養蜂実習」(受講生徒9名)</p> <p>学校設定科目 自由選択科目 2,3年次 理数 「環境科学」(2単位)での「河川実習」(受講生徒2名)</p> <p>教諭 鈴木 茂智</p>
連携・協力 機関	<p>株式会社 菅野養蜂場 菅野 富二 様、菅野 裕隆 様</p> <p>NPO 法人常呂川自然学校 理事長 羽根石 晃彦 様</p>
取組の内容	<p>3年次 理科 「自然環境研究」での「養蜂実習」では、株式会社 菅野養蜂場 菅野 富二 様、菅野 裕隆 様のご指導のもと今年度も「養蜂実習」を行った。今年度は受講生徒も多いことから、巣箱を2箱に増やした。2箱の増やしたのもあり、また、今年は蜜がたくさん撮れる表の年も重なり、採蜜を3回行い、採取できたハチミツは計17.9kgとなった。受講生徒が多いことや巣箱を2箱に増やすことで、昨年とは異なり巣箱の区別のため色を塗ってみたい、盗蜜といった複数箱での気を付けなくてはならないことを学ぶことができた。</p> <div data-bbox="375 1016 1211 1200"> </div> <p>学校設定科目 自由選択科目 2,3年次 理数 「環境科学」(2単位)での「河川実習」では、NPO 法人常呂川自然学校 理事長 羽根石 晃彦 様のご指導のもと「川の水はどのようにしたら飲めるのか」を中心に探究した。様々な試薬を用いて、浄水器を作成し実験を行った。時間があまりない中で試行錯誤を繰り返しながら納得解を得られることができた。ヤマメの卵を採取し、観察することもできた。他の学校ではできない貴重な体験をすることができた。</p> <div data-bbox="386 1485 1275 1630"> </div>
取組の成果 学校・地域	<p>「養蜂実習」では、始めは虫全般が苦手な生徒も、途中からはミツバチが好きになり、ミツバチの生態や蜂蜜について積極的に学び、理解していった。また、地域からも興味を持っていただき、学校と地域をつなげる教科の一つになった。</p> <p>「河川実習」では、今年初めて行ったヤマメの卵採取で、川の深くに産んである卵を見て、自然界を生きる生物の力強さを体験することができた。</p>
次年度展開	<p>次年度も「養蜂実習」を継続し、留辺蘂町の環境についてミツバチを通して理解していきたい。「河川実習」では、自然を生きる生物のたくましさを体験を通じて理解していきたい。</p>